

---

# 魔法消滅のハルケギニア

ゴッドマスター

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

「」のPDFファイルは、「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

魔法消滅のハルケギニア

### 【Zコード】

Z7857Z

### 【作者名】

ゴッズマスター

### 【あらすじ】

サイトとして転生することとなってしまった！どうする・・・！？

転生時にネ申から色々と能力を与えられて、原作開始前にハルケギニアの全魔法を消滅します。

魔法が使えなくなつた貴族やメイジ、亜人たちの運命はいかに。作者はハルケギニアの貴族どもが殺したいくらいに大嫌いです。

**転生 能力授与（前書き）**

魔法消滅ネタはがらうでんせんに許可をもらいました。

## 転生 能力授与

「……………」

すると真っ白い空間の田の前には白ひげを生やした老人がいた。

「お主はもう寿命が尽きて120歳で死んだ。そんで、『ゼロの使い魔』の平賀才人に転生することになった」

ゼロの使い魔というと死亡フラグ満載の作品。マギ族の末裔の貴族メイジは平民を殺すことや虐げることに生きがいを見つける最低最悪の種族。

(ちょっと誤った情報でっせ)

「何じゃ……変な電波は! その代わりサイトに転生するんだから能力頂戴」

1、ドラゴンボールAFのザイコーの特性(尻尾・大ザル×)、超化するときは白金色のHナジーを放出。

2、気を感じコントロールする力

3、H×Hの強化系中心の念能力

4、王の財宝<sup>ゲート・オブ・パピロン</sup>・黄金律と一方サンのベクトル操作と演算処理能力

5、流派東方不敗の技・地球世界の武術・格闘技・「幽々白書」の靈光波動拳・北斗神拳・「押忍!空手部」の最終巻の高木の技・ドラゴンボールGT最終回時の悟空・ベジータ・クリリンの技すべ

てマスター

6、紀元元年に存在したさる能力者の「魔法消滅」の能力

7、クリエイト能力とすべての宇宙の知識の本棚

8、キビト式空間転移能力（物の持ち運び可能）

「何じゃ・・・・ま・・・・いいだろ？・・・。アンチするつもりか・・・・？」

「あつたり前よ。使い魔・従者・奴隸なんてやつてられつか。おまけに原作でサイトは最初はクソルイズに酷い目に遭うけど、最後はクソ下らない貴族爵と領地もらってハーレム・・・。人を馬鹿にするのもいい加減にしろといいたい・・・。なぜそこからサイトはアホ女王に近代化への上奏策とアサルトライフルの開発・生産で貴族社会を壊滅に工作しなかったのかだ！」

「よし、”転生”！」

すると光の渦に巻き込まれて消えた。

「やはりワシが見込んだアンチモノだ。せいぜい楽しませてくれよ

「アンチするぜいよ！ハルケギニア平民に独立を・・・・！――！」

## 鍛錬するべし

5歳になつたサイトは、高熱を出して倒れこんだ。2～3日で熱が引いて起き上がり、「ゼロの使い魔」22巻までのあらすじやそれらの二次作やネ申に「えられた能力を思い出した。

(P.S./原作者の復活と完結を願っています)

「最後にサイトはハルケギニアから聖地を通つて地球世界のメキシコ湾の”バミューダ海域”へ帰還したけど、それまでのクソみたいなルイズやその他のクソ貴族の扱いには腹が立つぜ！まずは召喚までに鍛錬をして力を蓄えていくべし！」

まずはクリエイト能力で一粒仙豆を創造した。食つてみると熱で失った体力が回復している。

「よし！ いけるぞ。マジで本物だ」

これなら無茶なトレーニングを繰り返してパワーアップできる。あのザイゴーの特性だね。サイヤ人と界王神族の姫君のサラブレッド・・・・・。文句なし。

幼稚園から帰つてきて自宅の裏山にカプセルコーポレーションの宇宙船を作つた。重力は最大1万Gである。

まずは地球の10倍の重力になることとある。柔軟からランニング・腕立て・腹筋・スクワットなどの自重筋肉トレーニングとエアーボールを使ったトレーニングとアジリティなどのムーブ系トレーニングなどを毎日こなしている。

そして、それにも慣れて来ると、今度は本格的に動き始める。パンチやキックを高速で繰り出し、高速移動で、宇宙船内を舞う。

時には、かめはめ波やエネルギー波を放ち、それをコントロールして自分で受ける。そして死に掛けると仙豆で、傷と体力を完全に回復させる。サイトはこの修行方法に完全に、なんと言つか、味をしめていた。

さすがに一日以上は家を空けることができないので一日2時間くらいのトレーニング。

「きつい・・・・クソ貴族を殺害するために・・・・」

そして20G・・・・50G・・・・と

また、親に頼み込んで水泳・体操教室にフルコンタクト系空手道場へと通いだした。

2ヶ月が経ち100倍の重力を克服したサイトは、更に厳しい修行を続けていた。H×Hの念能力の瞑想修行や靈光波動拳のオーラエナジーを指先に集めて逆立ちでの修行（これは自宅で・・・）をこなしていた。

「ん！？原作や二次作みたいにクソピンクに召喚される筋書きを破壊して、事前にハルケギニアへ転移して魔法消滅させればいいじゃん！でもティファやその他の子供たちは助けたいな。あとは平民に物故路されてもいいじゃん

たしかに律儀に台本どおりのアンチするのもなんだしへ・・・・・・  
兎に角、鍛錬。

それにしても100G慣れるまで2ヶ月かかった・・・・5歳の身で一週間以上も留守なんてできるわけがない・・・・クソー！！！

あ！そうだ！携帯式重力装置を造ろう。クリエイト能力で腕時計タイプの人工重力装置を造つて装着した。  
これを付けて設定したい重力を入力して作動させるとその重力が装着者だけにかかるものだ。

(つゞか宇宙船無駄になつたね)

カプセルコーポレーションの宇宙船は王の財宝へ収納して、代わりにこの腕時計タイプの人工重力装置で鍛錬した。風呂に入るところ以外はそれを付けて重力になれて生活していくこととなる。

こうして1万Gを克服するころには10歳になつた。無論、超化は100G克服したところでも覚醒している。

「よし、ハルケギニアの魔法を消滅させるか！」



**原作前の魔法消滅（前書き）**

がろうでんさん！パクリます。

## 原作前の魔法消滅

超化もできてチートなサイトは、魔法学院とおぼしき建物の郊外へと転移ΟＵＴした。

「よし、やるか！」

プラチナ色に超化したサイトは、目を閉じてハルケギニア・・いやこの惑星・二つの月・一つの太陽とその他の惑星を含む太陽系まで意識を広めた。体が白金色に光り、一瞬に太陽系全体を覆った。

「天清浄 地清浄 内外清浄 六根清浄と 袴給う

天清浄とは 天の七曜九曜 一十八宿を清め

地清浄とは 地の神三十六神を 清め

内外清浄とは 家内三寶大荒神を 清め

六根清浄とは 其身其體の穢れを

祓給 清め給ふ事の由を

八百万の神等 諸共に

小男鹿の 八の御耳を 振立て聞し食と申す

天地一切清浄祓！！！！！！ 魔法消滅！！！！！！

！」

惑星世界全体が光つたと思うと光が霧散した。

舞空術でハルケギニア全體を確認できる位置まで上がったサイトは、アルビオンを見つけるとマッハでそこへと向かっていった。

アルビオン ウエストウッド村

10数人の山賊が一人の長耳の女の子とまだ5歳にも満たない子供たちを取り囲んでいた。

「こいつらは、奴隸として売り飛ばそう。ギャハハハハハハ！」

あると3歳の女の子が山賊の前まで来て・・・

「ティファねえちゃんをいじめるな！帰れ！つわああああああああ  
あ」

「うぬせこーの餓鬼が、ひねり殺してやる」

そつ言つなり大柄の男は、小さな女の子をつかんで抱え上げ、首を絞めようとした。

「やめて…………マリコ手を出さないで…………びええええ  
えええええ！」

「もつと泣け泣け…………」

上空からサイトが舞い降りて、少女を抱えあげた男の前に立つた。

「あの子を放してやれ！」

無論、言語変換装置を付けての警笛だ。

「うぬせこ。てめえビコから現れやがった！まくこの餓鬼からぶつ  
殺してやる」

超化にひかつてがつしつとした体格に覚醒したサイトは、無数の拳を男へと繰り出した。

オラー！！！！！！！！北斗百烈拳！！！！！」

男は軽く後ろに吹っ飛び、抱えあげた少女をサイトが受け止めた。

「もう大丈夫だよ」

「うわああああああああああああん！。」

ゆつくりと男は立ち上がり

「そもそもの拳など蚊ほどもきかんわー」

「おまえはもう死んでる・・・・・・・・」

男の肉体は爆発した。

「ひ・・・！で・・・！ぶ・・・・！・！？？・・・」

## 原作前の魔法消滅（後書き）

次は、山賊を皆殺しにしてウェストウッド村の子供たちを日本へ連れて行きます。

ようこそ日本へ もう大丈夫だよ

山賊の大男が、肉体爆発した。サイトの北斗百裂拳が炸裂！

残りの山賊が動搖した。

「てめえー、このクソ餓鬼が殺つちまえ！……！」

十数人が一斉にサイトを取り囲んだ。そして少女を静かに下ろして・  
・・・・・

「北斗！百方斬！……！」

サイトを取り囲んだ山賊の集団が爆死。

「…………あ？…………ベ…………し…………  
…………」

木陰からサイトに向かつて矢が飛んできたが、叩き落した。

「おいそこのお前もこのクソ共の仲間か！！」

片方を眼帯しているチビ中年風の男が木陰から出てきた。

「「」のクソ餓鬼が…………今度はぶつ殺してやる」

ボウガンの矢をセットした男はサイトに狙いを付けた。

「また墓標のない墓穴をふやすつもりか…………。貴様に生きるチャンスをやる。よく狙え！！はずしたら見えている目をもらう」

矢がボウガンからサイトに向かつて発射された。

「「」のクソ餓鬼…………死ね！！」

「一指真空把」

飛んできたボウガンの矢を人差し指と中指で掴み取り、男の隻眼へと放つて命中させた。

「田が…………田が…………田が…………」

「！」

そして近づいて……サイトは男に手刀を叩き込んだ。

「岩山両斬波……………」

手にみつちり脳漿なんかの血肉がつこちやつたよ・・・

最後に一言「北斗神拳は無敵だ」

山賊集団を倒した後、エルフ耳の少女と子供たちに自分は散歩で通りがかったと話した。クソ共の死体は埋めたけどね。

小屋の中で色々と話をした。

「あなたのお名前はサイトっていうのね。わたしはティファニア、ティファアでいいわ」

「よひしくなー！ティファア」

年齢はサイトと同じ10歳より一つ下かな。胸はクラスの女の子よりちょっと膨らんできている。ここからが乳神に覚醒するんだね。

「・・・・・・・・・・・・

「ん？どうしたの？」

「・・・・・・・サイトって、悪い人なの？」

「へ？ 正義の味方だよ！ なんで？」

「あのせつきの悪い人たちを・・・」

「俺の世界じゃ悪人は死ぬべしんだよ。でも君たちみたいな人たちには人畜無害だね」

マチルダは、出稼ぎに行っているようだ。どうせ泥棒だろ。魔法使えないのに・・・捕まるね・・・年齢は16歳くらいだね。

ティファアやその他の子供たちは、荷物をまとめてサイトの住む地球へと転移した。“忘却”の魔法が使えないティファアは盜賊などから身を守ることができない。そこでサイトの提案で地球へと住むこととなつた。

マチルダは後で探して迎えに行く予定である。

地球では夕方。転移で家の前に来たサイトは、ティファアら十数名の子供たちを家に上がらせた。

「母さん、ただいま～！ ちょっと話があるんだ」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7857z/>

---

魔法消滅のハルケギニア

2011年12月27日20時53分発行